

## コートジボワール・晩餐会スピーチ

アラサン・ウワタラ(Alassane OUATTARA)大統領閣下——、私たち共通の友人、大勢の皆さんにお声掛けくださり、有難うございます。

ご列席の、大統領の皆様——、TICAD Vで、友情を培ってから半年あまり。皆さんにまたお会いでき、こんなに嬉しいことはありません。

また本日は、皆さまに見守られる中、素晴らしい勲章を、私と家内そろって授かりました。このうえない、榮譽に思います。

さて本年は、FIFA ワールドカップの年。日本が最初に戦う相手は、誰あろう、コートジボワールです。

お国は「おもてなしの国」と聞いています。日本も「おもてなし」ではひけをとりません。

奇しくも、「おもてなし」でアジアとアフリカを代表する両国が、まず、雌雄を決することとなりました。

ウワタラ大統領、この際、お互い約束しましょう。6月14日。どちらが勝っても、あるいは負けても、日本と、コートジボワールは、互いの健闘を、気持ちよく賞賛しあおうということです。大統領、いかがでしょうか？

大会に出るガーナ、ナイジェリア両国の活躍も、一緒に祈りたいと思います。

---

今回、私は、どこよりも先に、まず西アフリカに来なければと考えました。西アフリカに、こうして立ち、統合の息吹を、五感すべてで、感じ取って帰りたいと思っています。

西アフリカには、未開発の資源、豊かな農業が存在し、日本2つ分以上に相当する、3億人の人口があります。偉大なる可能性が、ECOWASのもと連帯し、あたかもいっせいに、前進し始めたかに見えます。

私はそれを見て、聞いて、感じて、日本の人々に、伝えたいと思います。妻の昭恵と、それから同行して下さった日本のビジネス・リーダーたちと一緒に、西アフリカを、日本へ伝える役目を担いたい——。そう思ったのが、西アフリカへ、ほかより先に来たいと思った理由です。

持って帰るおみやげも、もう決めています。ユーロにペッグした、皆さんがた UEMOA の統一通貨、セイファー・フランの紙幣を、何種類か集めて帰ります。

その何枚かを写真に撮って、私の facebook にアップします。日本の人たちが、西アフリカへ、早速関心をもってくれると期待しています。

---

連帯は、力なり——。ECOWAS が世界に教えているのは、単純にして力強い、そんなメッセージだと思います。

サヘル地域安定化のため、皆さんが払った努力は、私たちに、尊敬の念を抱かせずにはいません。

一緒に、日本も歩みたいと考え、今回、サヘル地域に、8340 万ドルの、支援を準備しています。

なかんずくコートジボワールは、ウワタラ大統領のもと、紛争から、目覚ましい復興を遂げつつあります。経済再建の息吹たるや、西アフリカのエネルギーそれ

自体を、象徴するかのようではありませんか。この地域で、まずは、お国を訪れたいと思いましたがゆえんです。

ひとつ、思い起こすことがあります。1970年、日本が、大阪で万博を開いたとき、コートジボワールは、自ら独立のパビリオンをつくりました。

象牙をかたどった、真っ白なパビリオン。アフリカの中でもとりわけ未来を秘めた国だということを、コートジボワールは日本の地で、世界に向けて誇らしくも主張したのです。

ECOWAS15カ国の皆さんにとって、限界があるなら、それは唯一、青い空だけ。青空を、突き刺すように伸びたあのパビリオンの造形は、いま思えば、未来を先取りした姿でした。

---

「団結、規律、勤労」が、お国の国是と聞いております。この3つは、私たち日本人に、ぴったりくる徳目ばかりです。

日本と、西アフリカの、これからともに歩む未来にも、  
広々とした、青空が、どこまでも、広がっている。

私はこれから、いつもそう思い続けてまいるつもりで  
す。本日は、ほんとうにありがとうございました。 (了)